

**GEYMS 超音波造影剤「ソナゾイド」対応の
超音波診断装置「LOGIQ 7 BT 07」発売
(2007/5/17)**

GE横河メディカルシステム(株)は、日本初の次世代超音波診断用造影剤「ソナゾイド注射用(以下、ソナゾイド)」に対応したフルデジタル超音波診断装置「LOGIQ 7 BT 07(ロジック・セブン・ビーティー・ゼロナナ)」を、大学病院や大規模・中規模病院のエコー室、循環器を含むエコー検査室を主対象に発売する。ソナゾイドは、米GE社のヘルスケア事業部門であるGEヘルスケアと第一三共(株)との共同研究開発により創製され、第一三共が2007年1月10日から国内販売を展開している。発売以来、同造影剤対応の超音波診断装置の開発ニーズが全国の医療機関から寄せられていた。それに対応すべく今回、同社の多目的汎用の「LOGIQ」シリーズの上位機種「LOGIQ 7」にソナゾイド対応機能を搭載し、発売することになった。新規購入のほかに、LOGIQ 7からのアップグレードも可能である。

<主な特長>

● **ソナゾイド対応機能「Hybrid Contrast Imaging」**

ソナゾイドの超音波信号に色をつけて表示することが可能なため、造影剤の染影や流れの様子をわかりやすく観察できる。また、Rawデータ技術により、装置に取り込んだ造影検査の画像をスキャン後に診断に最適な画像に加工することができる

● **基本性能がさらに向上**

Bモード画像については、スペckルノイズを軽減し画像を観察しやすくするSRI-HD機能の性能を向上させた。また、血流情報をリアルタイムでかつ精細に観察できるB-Flowイメージングが心臓検査で使用するプローブでも可能になっており多目的汎用超音波診断装置としての性能をさらに向上している。

GEYMS
(LOGIQ 7BT 07)

